

第 70 回指導者会議について

テーマ：日本学連における今後の指導者施策

主催：公益財団法人 日本学生陸上競技連合

目的：陸連では生徒児童が加入するクラブチームを立ち上げる際に、コーチ資格を持つ者の登録が義務化された。学連においては、コーチ資格を持つ者の登録は義務化されておらず、各大学の指導者の現状（資格の有無など）も把握できていない。また、昨今では、コーチ・指導者のモラル欠如に伴うトラブルも報告されている。そこで、今年度の指導者会議では、コーチ・指導者の現状把握に焦点を当てて、指導者登録制度の導入も視野に入れた方向で検討したい。

開催方式：対面とオンラインのハイブリッド方式

日時：令和 6 年 3 月 8 日（土曜日）

15:00～15:15 受付

15:15～15:20 開会挨拶（松本会長）

趣旨説明（木越清信 zoom にて）

15:20～15:50 障子 恵（総務委員会 委員長）

総務委員会として指導者に期待したいこと

具体的には、ID カードの不正利用問題、学生競技者の競技を見せて収益を得ている自覚

15:50～16:20 羽田 雄一（競技委員会 副委員長）

競技委員会として指導者に期待したいこと

具体的には、競技会に関する指導者からのクレームのほとんどは、正しい情報が伝わっていないことに起因している。情報が共有されるような工夫がほしい。

16:20～16:50 船原 勝英（倫理委員会 委員長）

指導者からのハラスメント事例

学生より事前に聞き取って紹介

16:50～17:00 まとめ（滝川 哲也 指導者運営委員会 委員）

閉会挨拶（永井専務理事）

司会：船原 勝英（本連合 倫理委員長・指導者会議運営委員）

以上